

小金井市施設ごみゼロ化行動実施計画

計 画 年 度	令和6年度	部 会 名	第二庁舎ごみゼロ化行動推進部会
会 長 名	(職名) ごみ対策課長	(氏名) 今井 哲也	
対象とする施設名称	第二庁舎		
廃棄物の減量目標	令和4年度排出量実績を維持		
資源化率の目標	令和4年度資源化率実績を維持		
計画年度における取組			
<p>1 令和6年度廃棄物減量目標</p> <p>(1) 廃棄物の減量目標 令和4年度実績を維持 25,689kg</p> <p>(2) 廃棄物の資源化率の目標 令和4年度実績を維持 95.0%</p> <p>2 ごみゼロ化実施計画目標を達成するための具体的な取り組み</p> <p>(1) 食事及び食事容器等の発生抑制</p> <p>① マイ箸、マイスプーン、マイフォーク、マイボトル、マイバッグ等の使用</p> <p>② 弁当等の容器の購入店への返却(例:仕出し弁当)、持ち帰り</p> <p>③ 食べ切ることのできる量を購入し、食品ロスを発生させない。</p> <p>④ ペットボトル等の持ち帰り</p> <p>(2) 紙資源の発生抑制等</p> <p>① 紙の使用量削減</p> <p>② ミスプリントの削減</p> <p>③ 使用済みの紙、ミスプリント紙等の裏紙再利用の徹底 ※個人情報及び機密情報が記載されていないか重々確認してください。</p> <p>④ 紙資源の分別徹底</p> <p>(3) ごみ・資源の発生抑制、分別の徹底</p> <p>① 分別が分かりやすいように掲示等を工夫する。</p> <p>② ごみの排出場所の削減等</p> <p>3 目標を推進する職員の心構え</p> <p>第二庁舎1階にあるウォータースタンドを積極的に利用する等、マイボトルの使用を心掛ける。また、ごみ減量に関しある程度情報が浸透し、自覚を持って行動している職員も多数いるが、全員には浸透しているとは言えない状況である。ごみの中に資源が含まれているなど分別が正しくなされておらず、ごみ減量に対する意識が不十分であると言える。ごみの減量には職員一人ひとりの行動が不可欠であることを自覚し行動していくことが大切である。</p>			